

1号機タービン建屋 滞留水移送装置追設に係る補足資料

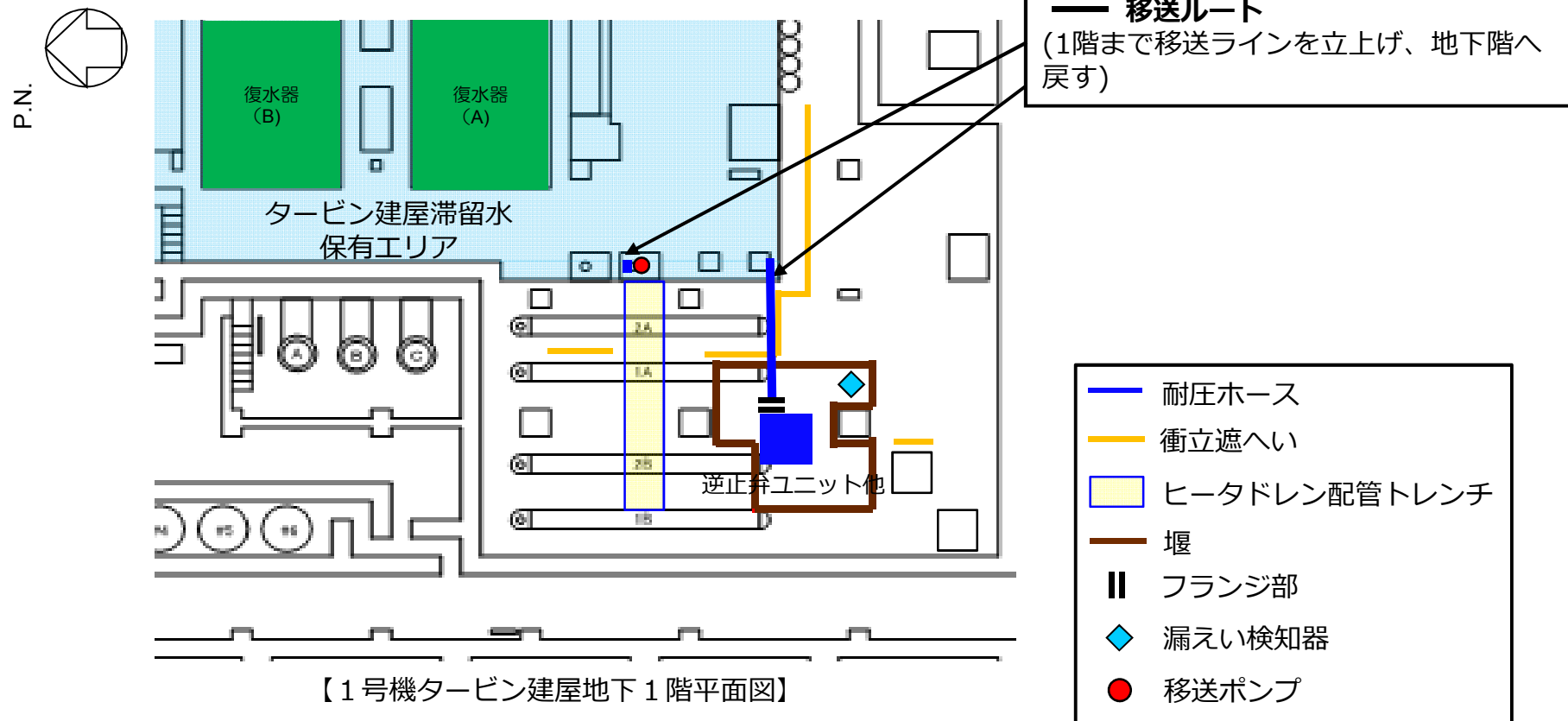
2016年 12月 21日

東京電力ホールディングス株式会社

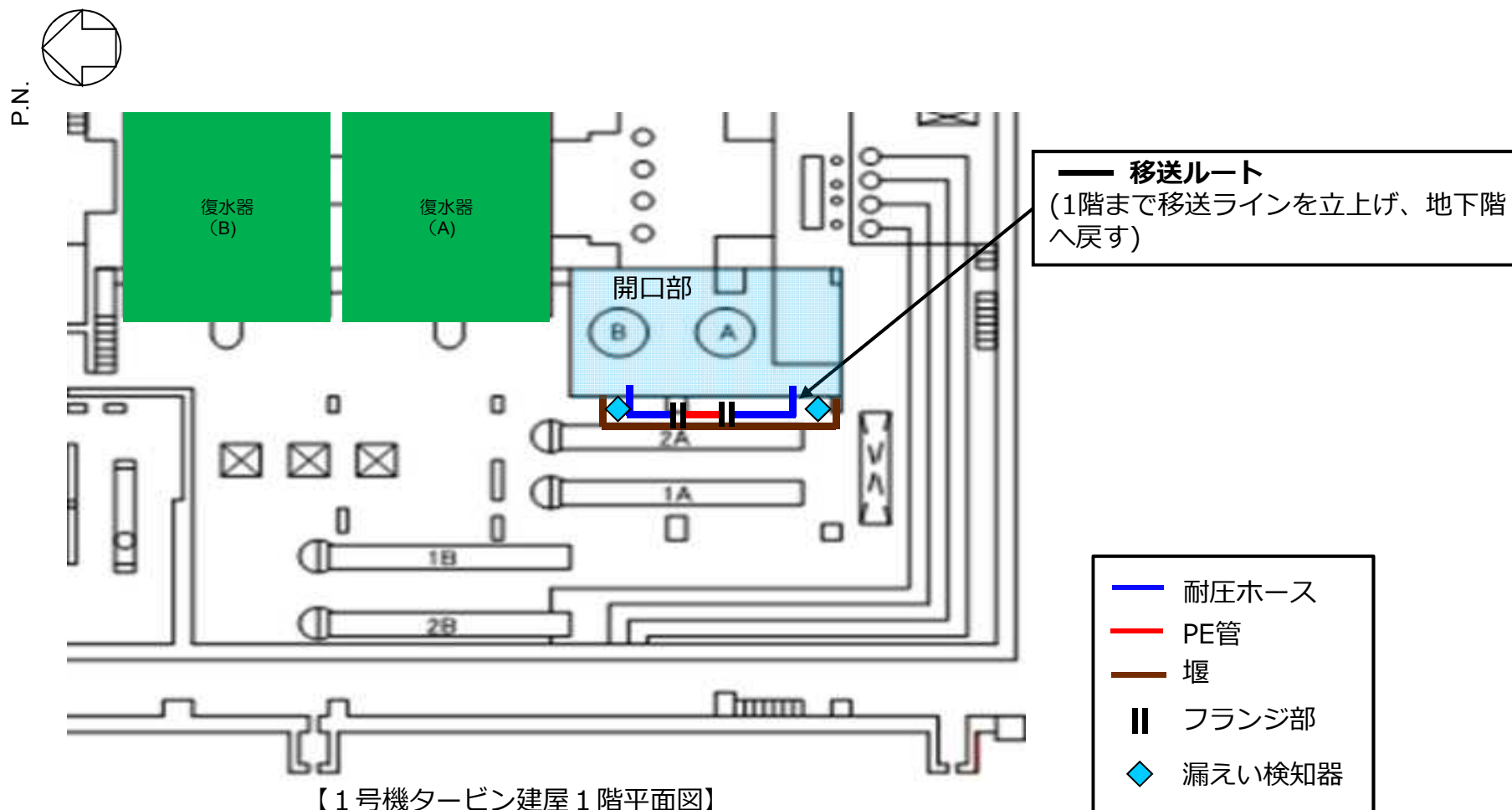
TEPCO

1. 滞留水移送装置の一部配置変更について (1/2) TEPCO

- 当初計画の移送ルートは漏えいポテンシャルを最小とするため、施工性を踏まえた最短ルートでの敷設を計画していたが、ヒータドレン配管トレンチ上の線量が十分に低減しなかったこと等から、敷設ルートの見直しを行った。敷設ルートの見直しは現地施工性（狭隘な現場環境）や線量環境等を考慮し、移送ポンプ（地下1階）から1階へ立ち上げた後、逆止弁ユニット（地下1階中間部）へ立ち下げることとする。
- 立ち上げ・立ち下げ部分は耐圧ホースとするが、ポンプからの立ち上がり部以外で耐圧ホースを使用する際は、二重ホースを採用し、漏えい拡大防止を図る。また、フランジ部については堰内に設置したうえ、漏えい検知器の設置も行う。



1. 滞留水移送装置の一部配置変更について (2/2) **TEPCO**



【参考】移送ルートの見直し

■ 移送ルートの当初計画と見直し後の状況

